

「2010年4月から2014年8月末までに川崎医科大学附属川崎病院で腹腔鏡下胆嚢摘出術を受けられた患者さん、またはご家族の方へのお知らせ」

「川崎医科大学附属川崎病院における胆嚢疾患に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術の治療成績の検討」に関する研究について

当教室では、2010年4月1日から2014年8月31日までに、川崎医科大学附属川崎病院で胆嚢疾患（胆嚢結石、胆嚢炎、胆嚢ポリープ、胆嚢癌）と診断され腹腔鏡下胆嚢摘出術を受けられた患者さんについて、診断時の検査成績と手術の結果が、その後の治療経過にどう影響するかをさかのぼって検討することを、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会により承認を得ました。

本研究の目的は、腹腔鏡下胆嚢摘出術の手術成績に影響を与える因子を検討し、今後の臨床現場に役立てることです。この研究結果は学会演題や学術論文として発表される予定です。本研究は診療録からのデータのみを収集する観察研究であり、患者さんの個人情報をも抹消した状態で解析します。従って、患者さんの個人情報が外部に漏れる心配は全くありません。この研究は教員研究費のみを使用する研究ですが、当教室では大鵬薬品工業株式会社、科研製薬株式会社、中外製薬株式会社、がん集学的治療研究財団、第一三共株式会社、株式会社大塚製薬工場、味の素製薬株式会社からの奨学寄附金を受領しています。このことについては事前に本学の利益相反委員会へ申告し、適正に管理されています。なお、上記7社および団体は本研究課題には直接関係のない企業、団体です。

不明な点のある方は、遠慮なく下記の問い合わせ先にご相談下さい。また本研究への不参加や、参加取りやめを希望される方は、同意撤回が可能ですので、下記までご一報下さいますようお願い致します。

本研究のお問い合わせ先

担当者：川崎医科大学附属川崎病院 総合外科学 准教授 浦上 淳

e-mail:aurakami@med.kawasaki-m.ac.jp

TEL:086-225-2111(内線 8509) FAX:086-232-8343